

デュロキセチンカプセル「DSEP」 を服用される

痛みでお困りの患者さんと そのご家族の方へ

線維筋痛症・慢性腰痛症・変形性関節症



第一三共エスファ株式会社

どうして痛みを感じるの？

「痛み」はさまざまな原因によって起こります。

ヤケドや切り傷、打撲などの外的要因によって起こる場合、神経が傷つくことによって起こる場合、それらに当てはまらないような原因不明の場合もあります。

脳には、「痛い」という信号を伝える経路と抑える経路があり、痛みが長く続く患者さんでは、痛みを脳に伝える経路に問題が起きている可能性があります。

公益財団法人 日本リウマチ財団 リウマチ情報センター

この薬は何に効くの？

デュロキセチンカプセル「DSEP」は、長く続いている線維筋痛症^{*}、慢性腰痛症、変形性関節症に伴う痛みを和らげる薬です。

痛みを抑える経路に働く神経伝達物質であるセロトニン、ノルアドレナリンの量を調整する作用があり、この作用によって、痛みを抑えるはたらきが強められ、痛みの刺激を和らげることができると考えられています。

^{*}線維筋痛症とは

一般的な検査をしても原因が見つからないにもかかわらず、全身のあちこちが慢性的に痛む病気です。

□ デュロキセチンカプセル 20mg「DSEP」



□ デュロキセチンカプセル 30mg「DSEP」



●カプセルは実物大です。

■ うつ病にも使われている薬で、痛みが治まるの？

この薬は、線維筋痛症、慢性腰痛症、変形性関節症の他にうつ病の治療にも使われますが、うつに対する効果とは独立した作用で鎮痛効果が示されるといわれています。

この薬と同じ成分の製品で実施された試験で、うつ病ではない線維筋痛症、慢性腰痛症、変形性関節症の痛みをもつ患者さんにおいて、痛みに対する効果および安全性が示されています。



■ この薬にはどんな副作用があるの？

薬を服用することで、眠気や吐き気がしたり、便秘になることがあります。これらの症状は服用初期の1～2週間にあらわれることが多く、副作用の種類によっては次第に治まっていく傾向があります。

薬の服用を突然中断することで、症状が悪化することがありますので、ご自身の判断で中止しないようにしてください。

上記以外にも気になる症状がある場合には、必ず主治医や薬剤師にご相談ください。



吐き気



便秘

服用中の方は、つぎの点にご注意ください。

- 最初の1～2週間は、眠気や吐き気などの副作用があらわれることがあります。自然に治まってくることもあります。気になる場合は主治医や薬剤師に相談してください。

- この薬は肝機能、心拍数、血圧に影響を与えます。そのため、血液検査、脈拍数や血圧測定を行い、異常がないか確認することがあります。

- めまいやふらつきなどを起こして転倒してしまうことがありますので、症状を感じたら早めに主治医や薬剤師に伝えてください。また、眠気などが起こることがあるので注意をし、自動車の運転が必要な場合は主治医に相談してください。体調不良を自覚した場合には、絶対に運転をしないでください。

特に、この薬を飲み始めたときや、飲む量を変えたとき、他の薬から変えたばかりのときに、めまいや眠気の症状があらわれやすいので、主治医から運転などをしないように指示があった場合には、主治医の指示を守りましょう。

- 服用を突然中止しないでください。

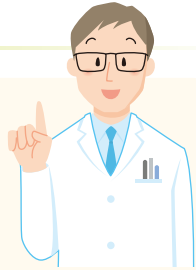
- この薬を中止するときは、少しずつ服用量を減らします。体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を減らしたりすると、気分の変調（不安や興奮）があらわれたり、めまい、頭痛、吐き気などの症状があらわれることがあります。服用を中止する場合は、必ず主治医と相談しながら進めてください。

- 糖尿病の患者さんでは、この薬によって血糖値やヘモグロビンA1cの値に影響を受けることがあります。このような場合には、必要に応じて糖尿病の治療薬を調整することがあります。

- 痛み止めや解熱剤として用いられているアスピリンなどの非ステロイド性抗炎症薬（NSAIDs）には、消化管出血の副作用が知られており、この薬と一緒に服用することで出血のリスクが高まる場合があります。気になる症状がある場合には、早めに主治医や薬剤師にご相談ください。

- この薬は慢性腰痛症、変形性関節症に対しては対症療法となるので、疼痛の原因があればその治療をあわせて行い、薬物療法以外の療法も考慮してください。

- この他にも、気になることや分からないことがある場合は、主治医や薬剤師に相談してください。



患者さんと、ご家族の方へ

この薬は、脳内に作用し、脳内の神経伝達をスムーズにし、抑うつ気分や不安を和らげます。

また、中枢神経系の痛みを抑制する経路に作用し、痛みを和らげます。うつ病など、精神科の病気で治療されている場合は、精神科の病気の症状に影響を与える可能性がありますので、服用前に主治医に伝えてください。

患者さんへ

- 薬の飲み始めや飲む量が変わったときに、イライラして落ち着かなくなったり、生きるのがつらいと感じたり、消えてしまいたいという気持ちになったり、場合によっては死んでしまいたいという気持ちになる患者さんが稀にいらっしゃいます。
- 不安になる、あせる、興奮しやすい、攻撃的になるなどの症状があらわれることがありますので、このような症状を感じたときは、主治医や薬剤師に相談の上、必要に応じて精神科や心療内科の受診をご検討ください。



ご家族の方へ

- 患者さんの行動の変化やうつ症状などの、もともとある病気の症状が悪化する危険性について、主治医から十分に説明を受けましょう。
- 患者さんが上記の症状に当てはまると感じた場合には、ご家族の方または患者さんご本人から早めに主治医に相談するようにしてください。主治医と緊密に連絡をとるようにしましょう。

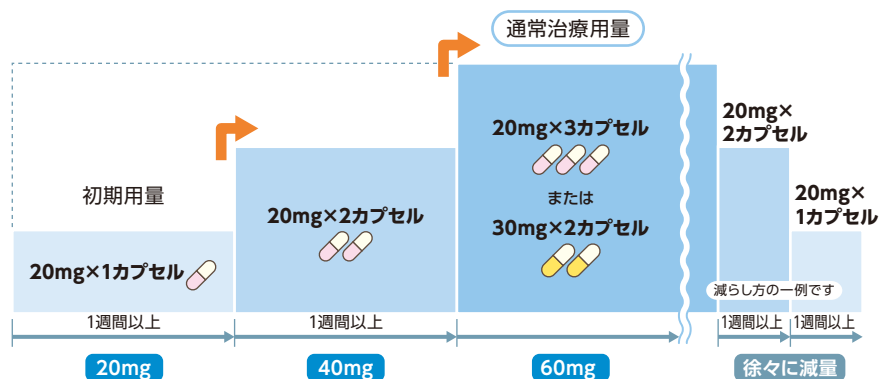


■ 用法及び用量

通常治療用量
60mg

- 本薬を1日1回、朝食後に服用します。服用量は20mgから始め、1週間以上の間隔をあけて20mgずつ増やしていき、最終的に60mgまで増量します。
- 通常治療用量は、1日1回60mgです。
- 毎日服用することで効果を発揮します。痛みのない日も指示通りに服用してください。
- 効果があらわれるまでに時間がかかる場合があります。

1週間以上服用したあと、副作用の状態をみながら20mgずつ量を増やし、通常治療用量の60mgにしていきます。



- この薬はカプセルをあけたりせず、そのまま服用してください。
- **中止するとき**
服用を中止するときは、飲み始めのときとは逆に服用量を少しずつ減らしていきます。
突然の中止によって症状が悪化したり、気分の変調や頭痛、吐き気があらわれることがあります。
ご自身の判断で中止したり量を減らしたりせず、主治医の指示の通りに服用するようにしてください。

通院スケジュール

次回の治療を受ける日時が決まったら、
忘れないようにこちらに記入しましょう。

診察日	時間
月 日 ()	午前・午後 :
月 日 ()	午前・午後 :
月 日 ()	午前・午後 :
月 日 ()	午前・午後 :
月 日 ()	午前・午後 :
月 日 ()	午前・午後 :
月 日 ()	午前・午後 :
月 日 ()	午前・午後 :
月 日 ()	午前・午後 :
月 日 ()	午前・午後 :
月 日 ()	午前・午後 :
月 日 ()	午前・午後 :
月 日 ()	午前・午後 :
月 日 ()	午前・午後 :
月 日 ()	午前・午後 :
月 日 ()	午前・午後 :
月 日 ()	午前・午後 :
月 日 ()	午前・午後 :
月 日 ()	午前・午後 :
月 日 ()	午前・午後 :
月 日 ()	午前・午後 :

デュロキセチンカプセル「DSEP」

医療機関名（連絡先）

〈緊急時連絡先〉

医師名

看護師名

薬剤師名



第一三共エスファ株式会社

EPDUL1P00801-1
2022年8月作成